

人生決めた高校進学 篠田先生とも出会い

高井 やりとりは私も覚えています。父は「淨音寺」(岐阜市三輪宮西)というお寺の五〇代目の住職で、戦前は農地解放で持ち分が一〇〇坪ほどに減りました。淨音寺は「落語の祖」といわれる江戸時代の僧・安

高井 生活していくために父母は事業もしましたが、うまくいかず、父は学校の教師に転じて病に倒れ、わが家は生活保護を受けることになりました。私は小二から中三まで新聞配達を

高井 楽庵策伝にゆかりがあります。篠田 暮らしの激変は大変だったでしょ。後藤静一社長(当時)は私を見すえ、「高校へ進みなさい。お金もことは心配しないでいい。しつかり勉強しなさい」とおっしゃいました。

篠田 劇的な展開ですね。

高井 私は「一期一会」を座右の銘としますが、後藤社長との出会いが

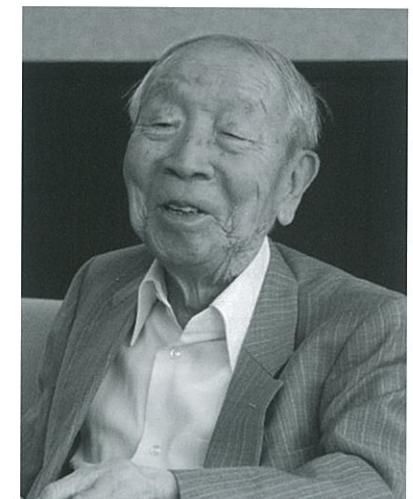
その原点です。後藤社長は後に正式に奨学金制度を設け、奨学生寮も建て、毎年五人を高校へ通わせました。私は

その一期生となり、岐阜商業卒業後は後藤孵卵場と関連会社「美濃かしわ」で働きました。そこで仕事が今日の私の元をつくってくれました。

経理や総務、社長室など中枢を任せられました。若くして「経営」に触れていました。その後は「お遍路」になり、四国を一周。妻子夫人と歩いた道では、「自分は小さい。どれほどごことをなされたのか」とお返しを振り返ったといいます。88歳。



高井 法博 (たかいのりひろ)
岐阜県立岐阜商業高卒業後、1976(昭和51)年、税理士試験合格。78年、12年間勤めた(後藤孵卵場を退社)、自宅で事務所開設。業務を、税務、財務にとどまらない、中小企業のビジネスサポート業。情報発信基盤、社外重役会員会議開催に尽力。現在、税理士法人TACT高井法博会計事務所の会長と12の会社・関連団体の代表を務める。信条は「一期一会」「成功するまでやり続ける」。72歳。



篠田 幸雄 (しのだ・ゆきお)
名古屋大卒業後の1954(昭和29)年に岐阜県教職員となり、岐阜商高教員として勤務。可児高校長、岐阜高校長を歴任。県教育委員会でも要職を務め、89(平成1)~92年に県教育長。岐阜教育大(現・岐阜聖書大学)付属中学校長などを務めて2000年に退任。その後は「お遍路」になり、四国を一周。妻子夫人と歩いた道では、「自分は小さい。どれほどごことをなされたのか」とお返しを振り返ったといいます。88歳。

高井 篠田先生との出会いは、県立岐阜商業高校の二年時に週二時間あった「商業法規」の授業でした。当意即妙の冗談など、先生のやわらかなお人柄が印象に残っています。

篠田 「A男」「B女」と板書し、「ここに『えー男』と『美女』がおる」なんておしゃべりから商業の仕組みを説明したりしてね。

高井 テストの時、先生は教壇の椅子に座り、新聞を顔の前に広げておられた。真ん中に穴を開け、カンニングを見つけると「グスン」と咳払い。教室が和んでいましたね。

篠田 高井さんのことは「法博」という名前が印象的でした。格調のある名前なので由来を尋ねたら、あなたは「兄は文博、弟は経博。三兄弟とも『博』ができます。家は裕福ではありませんが『志をもつてひとかどの人間にになれ』との思いで父が名づけてくれました」と答えてくれました。

篠田 高井さんのことは「法博」という名前が印象的でした。格調のある名前なので由来を尋ねたら、あなたは「兄は文博、弟は経博。三兄弟とも『博』ができます。家は裕福ではありませんが『志をもつてひとかどの人間にになれ』との思いで父が名づけてくれました」と答えてくれました。

篠田 高井さんのことは「法博」という名前が印象的でした。格調のある名前なので由来を尋ねたら、あなたは「兄は文博、弟は経博。三兄弟とも『博』ができます。家は裕福ではありませんが『志をもつてひとかどの人間にになれ』との思いで父が名づけてくれました」と答えてくれました。



お遍路姿の篠田先生

が当事務所の基本方針です。

こうした体験が「高井法博奨学会」の発足にも結びついています。今年三月に第三期生として三人を認定し、これまでに計七人の大学生一人一人に月五万円、年間六〇万円を返済不要で支給しています。第二期には二七人の応募がありました。四年目を迎えていました。

篠田 恵まれない境遇ながらも意欲があふれた若者ばかりですね。書類だけではなく、面談して選考されています。言葉を交わすことは大切。お互いの気持ちが確認できて魂が入ります。

恩返しの「奨学会」設立

高井 七〇歳になつたのを機に、温めていた構想を実行に移しました。篠田

篠田 高井さんの「恩返し」ですね。高井 私個人のお金を投入し、みんなで遊びに来てくれ、焼き肉バーで歓迎します。手紙でも近況を報告してくれます。

篠田 高井さんの「恩返し」ですね。高井 私個人のお金を投入し、みんなで遊びに来てくれ、焼き肉バーで歓迎します。手紙でも近況を報告してくれます。

篠田 可児高では万引きをした男子生徒と「草取り」をしたことが一番の思い出です。自宅謹慎という罰が本当に一緒に校庭に立ちました。一週間、毎日草を取り続け、体を動かしながら

いろんな話をしました。取つた所と取つていらない所を見比べ、「気持ちがいいな」と問いかけると、彼も「はい」とすつきりした表情。「手入れをしないと雑草が生える。人の心も同じだよ」と私は言いました。こうしたことで勉強も習慣化できたのでしょうか。彼は国語が出て、こうした取り組みが結びついたのかなとうれしく思いました。

高井 先生の教育観をお尋ねします。三八年間の教育公務員生活で教壇に立たれたのは初任の岐阜商業の一、二年間。県教育委員会の勤務が長く、一九八二(昭和五七)年に開校三年目の県立可児高校の校長に就かれました。

篠田 「生徒を燃やすには自分が石炭

いいのか。私は奉仕作業を考え、夏休みと一緒に校庭に立ちました。一週間、父に代わって檀家回りをした中学生時代の高井

にならんといかん」と熱意にあふれた先輩がいました。教員生活の最後に岐阜高校の校長を務めた佐光義民先生です。引っ張られて、若い先生方も燃え、「組織は人だ」と実感しました。

高井 「自燃」「可燃」「不燃」という言葉がありますが、人間にも言えます。自燃性の人は自ら燃え、可燃性の人は触発されて燃える。不燃性の人はなかなか燃えてくれない。可燃性の人をいかに燃やし、不燃性の人にどう火をつけるかがポイントです。

「Life is a custom」(人生は習慣の産物である)。岐阜市の朝日大学付属村上記念病院の元院長・井田和徳先生が生き方や健康に絡めておつしやった言葉です。生活習慣がいい加減では良い結果は生まれない。「微差は大差を生む」ということです。

(人生は習慣の産物である)。岐阜市の朝日大学付属村上記念病院の元院長・井田和徳先生が生き方や健康に絡めておつしやった言葉です。生活習慣がいい加減では良い結果は生まれない。「微差は大差を生む」ということです。

見ること 声をかけること

高井 「燃える人間」を組織としてつくるには何が必要でしょうか。

篠田 声をかけることです。「見てるうはどうだ?」と、時には冗談も飛ばしながら生徒に声をかけられていました。成功の秘訣に「凡事徹底」という言葉がありますね。平凡なことを地道に続け、輪を広げていく。大切なことはないでしょうか。

この点で私が師と仰いだのは、私の前任の県教育長・吉田豊先生(現・岐阜県芸術文化会議名誉顧問)です。吉田先生は教諭の頃も校長になつてからも毎朝校門に立ち、「おはよう」「きょうははどうだ?」と、時には冗談も飛ばしながら生徒に声をかけられていました。

後には夏の準優勝が四度。岐阜高も戦後は夏の準優勝が一度。かつて両校の対決は「岐阜の早慶戦」と言われ、盛り上がりました。定期戦は校長同士で話し合つて決め、今も続いています。高井 岐阜商業時代、私は相撲部で主将を務め、応援団にも所属しました。三年生だった一九六四(昭和二十九)年夏の甲子園で野球部はベスト四に進出。アルプススタンドで懸命に応援しました。

篠田 覚えてていますよ、熱血応援ぶり。岐阜商業在籍中は多くの野球部員も教えました。高木守道さん(元・中日)とか。みな、学業も優秀でした。高井 岐阜商業野球部は今、O.B.の鍛治舎巧さんが監督を務めています。早稲田大学、社会人野球の松下電器(現・パナソニック)でも活躍し、松下と熊本県の秀岳館高校では監督としても実績を残されました。岐阜商業では「時間革命」と名づけた、複数のメニューを同時進行させる練習を推進されています。長時間の練習ができる公立校と、鍛治舎さんは松下では専務も務められた。経営に携わった人ならではの取り



全く感じさせない人でした。

高井 私は母校、岐阜商業の「礼儀礼節」の教育が胸に残っています。毎朝、校旗を掲げ、校歌を斉唱しました。礼儀の基本であるあいさつは連綿と受け継がれ、今や「校風」になっています。

この学校の教育や部活動は文武の両面で大きな成果を挙げており、それを

ジを発することが相手を動かします。

県教育長のころ、学校を褒めることに心掛けました。学校の話題が紹介されたり、新聞記事を見ると、「感激しました」

た。良い取り組みをされて、いますね」といった内容の手紙を校長に送りました。その手紙と一緒に記事を掲示した

学校もあつたとのことです。記事になればみんなに知られて励みになる。良い話題は地域や新聞社にどんどん発信してほしい。

指導者は誠実で謙虚であることとも大切です。県教委時代に上司だった教職員課長は私たちが提出した文書を手直しする際、目線を低くし、「こうすればもっと良くなるのでは」と丁寧かつ具体的に話されました。文部省から派遣されたエリートでしたが、官僚臭をしてほしい。

でも、現代社会はインターネットやスマートフォンで人と人が直接つながる時代。家庭や学校、会社といった関門を飛び越えてしまうことがあります。便利だが危険もあることですからね。

高井 やはり「声」をかけることではないでしょうか。ネット時代にあってぱもつと良くなるのでは」と丁寧かつ具体的に話されました。文部省から派遣されたエリートでしたが、官僚臭をしてほしい。

でも、現代社会はインターネットやスマートフォンで人と人が直接つながる時代。家庭や学校、会社といった関門を飛び越えてしまふことがあります。便利だが危険もあることですからね。

一期一会

思い出は高校野球へ

切磋琢磨県岐阜商―岐阜高

高井 ところで、夏は高校野球のシーズンです。篠田先生は岐阜高校の校長時代(一九八七・八九年)に岐阜県高校野球連盟の会長もお務めになりましたね。

篠田 大きな思い出は「岐阜高―県岐阜商」の定期戦を創設したことです。岐阜高野球部は明治の前期にでき、歴史は全国でも指折り。岐阜商業は昭和の戦前、春夏合せて四度全国優勝

でした。引張られたところ、春夏合せて四度全国優勝

でした。引張られたところ、春夏合せて四度全国優勝

でした。引張られたところ、春夏合せて四度全国優勝

でした。引張られたところ、春夏合せて四度全国優勝



ホームページで
導入事例をご紹介中!

詳しくは、
税理士法人TACT高井会計事務所の
貴社担当者へお問い合わせください。

365日変動損益計算書



▶TKCのクラウド型財務会計システム

FX4クラウドが貴社の最新業績の迅速な把握をサポート。
システム導入と運用を税理士法人TACT高井会計事務所がご支援します。

- ▶「365日変動損益計算書」で最新業績を一目で把握
- ▶部門別業績管理は階層別・グループ別に実施可能
- ▶過去10年間のデータをTKCデータセンターで保管
- ▶他社業務システムとのデータ連携が容易
- ▶「MR設計ツール」でオリジナル帳表を自由に作成
- ▶銀行信販データの自動受信で仕訳計上を省力化
- ▶電子帳簿保存法に完全対応



先輩がいました。教員生活の最後に岐阜高校の校長を務めた佐光義民先生です。引張られたところ、人間に言えます。自燃性の人は自ら燃え、可燃性の人は触発されて燃える。不燃性の人はなかなか燃えてくれない。可燃性の人をいかに燃やし、不燃性の人にどう火をつけるかがポイントです。

「Life is a custom」(人生は習慣の産物である)。岐阜市の朝日大学付属村上記念病院の元院長・井田和徳先生が生き方や健康に絡めておつしやった言葉です。生活習慣がいい加減では良い結果は生まれない。「微差は大差を生む」ということです。

(人生は習慣の産物である)。岐阜市の朝日大学付属村上記念病院の元院長・井田和徳先生が生き方や健康に絡めておつしやった言葉です。生活習慣がいい加減では良い結果は生まれない。「微差は大差を生む」ということです。

（人生は習慣の産物である）。岐阜市の朝日大学付属村上記念病院の元院長・井田和徳先生が生き方や健康に絡めておつしやった言葉です。生活習慣がいい加減では良い結果は生まれない。「微差は大差を生む」ということです。

（人生は習慣の産物である）。岐阜市の朝日大学付属村